

マサキ




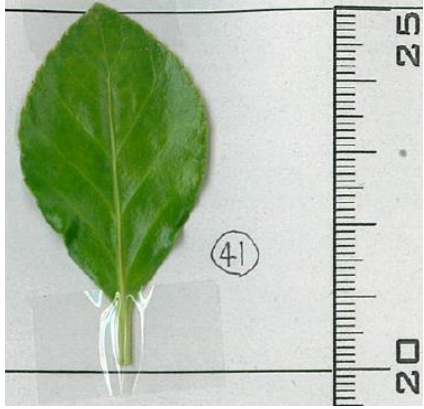
【 区画③(9, 10), 区画④(12, 13), 区画⑤(18), 区画⑥(24, 25, 26), 区画⑦(32, 35, 37), 区画⑧(41, 42), 区画⑨(48, 49) 】

学名	<i>Euonymus japonicus</i> Thunb.	分類	ニシキギ科ニシキギ属
分布	ほっかいどうなんぶ おきなわ かいがんにほんかくち ていえん 北海道南部～沖縄の海岸, 日本各地の庭園	樹高	2～4m程度の常緑低木

〈 特徴等 〉

名前の由来	・マオサキのつまったものか、マセキの転じたものと言われているが定かではない。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	・6～7月ごろに緑白色(薄い緑色)の小さな花を集散花序(茎の先端に複数の花がつく)に咲かせる。		
結実等	・赤色で四つに裂ける果実をつける。		
その他	・萌芽力が強く大気汚染にも強く、昔から生垣にされるが、病虫害が多いせいか最近はやや減っている。		

〈 写真 〉

		
樹木 (6/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (6/12)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (5/12)

＜ 参考文献 ＞ 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 698.
林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 165.